



CSRマネジメント

CSR体制

JFEグループは、社会を構成する一員としての企業の責任を自覚し、より良い社会の構築に向けて企業の社会的責任(CSR)を果たしていくことを経営の根幹に据え、取り組みを強化しています。その一環として、2005年10月、JFEホールディングスに「JFEグループCSR会議」(議長:社長、1回/約3カ月に開催)を設置し、コンプライアンス、環境、人事労働、安全・防災、社会貢献、反社会的勢力への対応など多岐にわたる範囲を対象として、JFEグループのCSRへの取り組みを監督・指導しています。また、グループを横断する「グループコンプライアンス委員会」や「グループ環境委員会」「グループ内部統制委員会」などを設置してそれぞれの取り組みを討議するとともに「JFEグループCSR会議」でこれらの内容を報告・共有化しています。

CSR監査

JFEグループは、CSRに関する重点項目が適切に実行されていることを確認するために、内部監査部門による業務監査に環境管理、独占禁止法遵守、経費管理、海外事務所管理、税法遵守、安全などCSRに関するテーマを盛り込み、各テーマについて順番に監査しています。

監査で問題点や指摘などがあれば、JFEホールディングスと事業会社の監査部門が連携することで、グループ内でその情報を共有し、グループ各社のCSR活動に反映させるよう努めています。

JFEスチールの環境監査

JFEスチールでは、「環境管理が事業活動上の重点課題である」との認識から、独自に内部監査部門が環境管理体制や水質、大気、騒音、産業廃棄物などの法規制遵守状況について、傘下グループ会社を含め定期的に監査しています。2009年度までに累計221事業所でこの監査を実施しました。

CSR体制図

